

●株式会社三越  
創業年：1673年  
代表者：石塚邦雄  
事業内容：百貨店  
資本金：非公開  
売上高：非公開  
従業員数：非公開  
所在地：東京都中央区日本橋室町1-4-1  
電話：03-3241-3311（代）  
URL：http://www.mitsukoshi.co.jp/



日本橋三越本館

1942（昭和17）年4月17日、横浜で生まれ育つ。稲荷台小学校卒業。趣味はゴルフ。  
好きな店・おススメ：日本橋は好きな店ばかりで1つにしぼれない。特に蕎麦が好きでよく食べ歩く。  
おススメスポットは日本橋を眺めるのに絶好のロケーション、橋のたもとの「滝の広場」。



# 東京 日本橋

## まちびとめぐりネットワーク

●日本橋めぐりの会 遠藤梨栄

日本橋界隈を舞台に、まちびとに取り組む人々とその活動などを紹介。まちを愛し、奮闘する「まちびと」の輪をリレー形式つなごう。



十軒店跡（じっけんだなあと）：室町3丁目界隈は、かつて人形市が立ち、にぎわいを見せた場所。桃の節句には内裏雛や禿人形、端午の節句には兜人形や鯉のぼりなどが売られた当時の様子は「江戸名所図絵」にも描かれている。当初、10軒の店があったことが名の由来だが、ピーク時には41軒にまでなった。

- まちびと
- 紳士録
- 日本橋
- 動物商品取引所
- 証券取引所
- 高級ガラス
- ホテル
- 信用金庫
- 百貨店



「全国子ども橋サミット」で自分たちの地域の橋について発表する子どもたち



中央通りを走る「メトロリンク日本橋」。まちの雰囲気意識した「江戸名所図屏風」のデザインが粋



「箱根駅伝」のこの日、沿道には熱い声援が。選手が通過するのを今か今かと待っている

「日本橋歴史」50年の永森昭紀さんは、日本橋界隈ではすっかりおなじみの人。三越日本橋本店に勤めながら、名橋「日本橋」保存会の事務局長としてまちづくりにいそむ。名橋「日本橋」保存会は界隈の20の町会をはじめ、地元企業や店が加盟する団体で、日本橋地域のまちづくりに関するほとんどのことに関わっている。

永森さんがまちづくりに携わるようになったのは昭和60年。石造りの日本橋が架橋77周年を迎える記念プロジェクトの実行委員になったのがきっかけ。「日本橋の上の首都高撤去」という大きな目標を実現させるべく業界の垣根を超えた有志が集結し、魅力的なまちづくりのためのさまざまなプロジェクトを企画・実現させてきた。毎年夏に日銀で開催される「全国子ども橋サミット」は、今年で10年目を迎える。全国から小学生が集まり、地域の橋を中心とした暮らしや文化、社会や環境について発表し、橋の歴史や役割などについて話し合う。翌日は、日本橋恒例の「橋洗い」にも参加する。また、日本橋と京橋間を無料で乗車できる「メトロリンク日本橋」

は、ビジネスマンや買い物客の手軽な足として利用されているコミュニティバス。界隈の飲食店から出る天ぷら油の廃油で走り、環境にもお財布にも優しいエコなバスだ。多くの企業に協賛をもらい、同会も後援団体の1つとして協力している。さらに「箱根駅伝」を10年かけて誘致するなど、どの事業も時間をかけて丁寧に準備し、実現したため、思い入れも一人だ。「何れとも積み重ねが大切」と力説する永森さんの姿は、地域への愛情とまちづくりへの情熱であふれている。

### 継続は力なり

たとえどんなに些細な変化でも、それが前に進むための一歩であれば、続けることで大きな一歩になる。また、続けることで横のつながりや信頼も生まれ、強力な一歩になる。ブームで終わらせず、波をうねりに変える、地域や社会に一石を投げ続けたい。



「次のまちびと」  
「SPリユニオンズ」  
の仁藤正広さん